



りんご生育情報

(平成31年度 第1号)

平成31年4月16日 亘理農業改良普及センター(果樹担当 横田)

電話:0223-34-1141, ファックス:0223-34-1143

<生育状況>

これまでの気象の推移は、冬季は低温少雨(雪)で、3月下旬から4月初旬にかけては平年より高温多雨で推移しました(図1)。

発芽期は平年より早くなりました。**展葉期は、その後の低温により昨年より遅いものの平年より早く経過**しています(表1)。仙台の「ソメイヨシノ」満開日(平成31年4月10日)を基にした推定から、「**ふじ**」の**開花始めは4月26日頃**と予想しています(図2)。

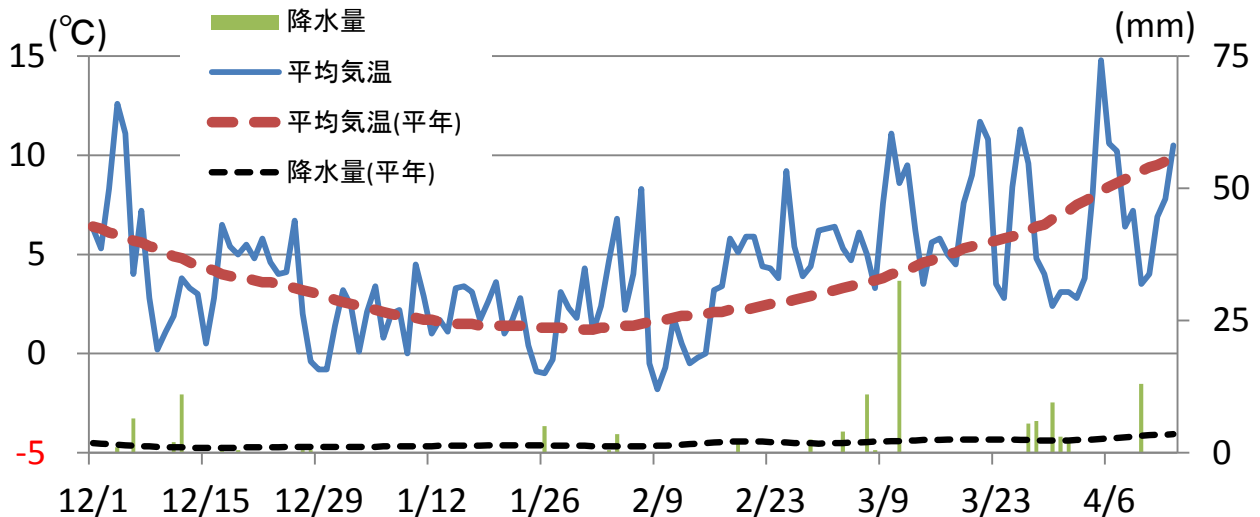


図1 気象データ(亘理アメダス, H30.12.1~H31.4.14)

表1 りんご生育状況

	発芽期	展葉期	開花始期	満開期	落花期
本年	3/27	4/8			
平年	4/1	4/11	4/29	5/4	5/9
平年差(日)	-4	-3			
前年	3/27	3/31	4/20	4/24	5/1
前年差(日)	0	8			

※ 調査地点: 亘理町神宮寺 ふじ/マルバカイドウ 58年生

※ 平年差, 前年差の-(マイナス)は平年・前年より早いことを示す

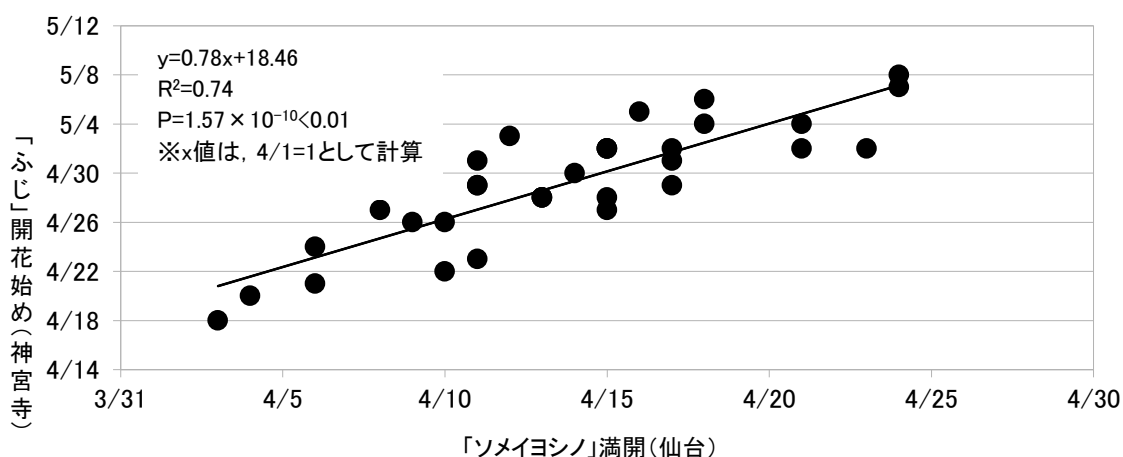


図2 「ソメイヨシノ」(仙台)満開と「ふじ」(巨理町神宮寺)の開花始め比較

<病害虫発生状況>

宮城県病害虫防除所が発表した「病害虫発生予察情報」から抜粋

【4月12日発行】

斑点落葉病：発生時期は早い。発生量は平年並み

リンゴハダニ：発生量は少。

<これからの栽培管理>

1. 凍霜害について

これからの時期は晩霜害の危険がありますので、気象情報に注意してください。一般に降霜は、晴天無風で**前日午後6時頃の気温が10℃以下の場合**に危険性が高くなります。常に気象情報に耳を傾け、低温注意報、霜注意報等の発令に十分注意すると共に、自らの果樹園の気温をはかって対策を講じましょう。

表2 りんご(ふじ)の生育ステージ別安全限界温度*(℃)

(福島県農業総合センター果樹研究所 実用化技術情報より)

発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花始	満開期	落花期
						
-2.1	-2.1	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7

*：安全限界温度とは、植物体温度がこの指標以下に1時間おかれた場合、わずかでも花芽が障害を受ける恐れがある温度。

【もしも凍霜害に遭ったら】

- 残った健全花に人工授粉を徹底して行い、結実確保に努めてください。授粉回数を多く、なおかつ花粉の希釈をしないで、「生づけ」することをおすすめします。

- ・摘果は結実が判別してから行ってください。特に被害を受けた果実はサビ果や奇形果になりやすいので、仕上げ摘果は障害状態が分かった後に行ってください。
- ・着果量が少なくなると樹勢が強くなるので、新梢管理を徹底してください。



写真 正常な花芽と凍霜害の被害を受けた花芽
 <左：正常な花／右：凍霜害に遭遇した花>

2. 摘果作業

満開期から30日頃までは、果実の細胞数が決まる時期です。その後は細胞数は増えず、細胞1個1個が肥大し、果実が大きくなります。細胞個々の肥大量には限界があるため、この時期に細胞数をどれだけ増やせるかによって、今後の肥大状況が変わってきます。細胞数が少ないと肥大が不良になるだけでなく、キメの細やかさに欠けるため肉質も粗く、また、裂果等、障害果の発生率も高まります。

(1) 摘花

作業可能なら、少なくとも腋芽は花のうちに摘み取りましょう。裏年であっても、腋芽に着生した花・果実は摘み取る必要があります。

(2) 予備摘果（一輪摘果）

満開後30日頃までに仕上げましょう。

落花14日頃になると、結実割合や果実形質の良し悪しが概ね明らかになるので、早ければ、その頃から仕上げ摘果に入りましょう。

結実割合が少ない年であっても、腋花や開花の遅れた花そうに着生した果実は良品質な果実にはならないので、なるべく早く摘み取り、無駄な養分を消費しないように努めましょう。

※※ 注意!!! ※※

「シナノスイート」で問題となる心かび病は、予備摘果時期が早いと発生が多くなると言われています。そのため、「シナノスイート」の予備摘果は、**満開後3～4週間頃**に行いましょう。前年に心かび病の発生が少ない園地では、予備摘果時期を早めても構いません。

2. 摘果剤の使い方

摘果剤を使用する場合は、気温の高くなりそうな午前中に、薬剤が果実にしっかり付着するよう十分な散布水量を散布しましょう。乾燥していると、効果が低くなります。

摘果剤の効果は、散布後2週間頃から確認できます。果柄が黄色味を帯びる、果実の生気がなくなる等といった症状が見られれば、効果が出ています。効果が確認できるまでは、摘果剤を使用しなかった園地や樹の摘果を進めましょう。

品種によって、摘果剤の感受性が大きく異なり、特に「つがる」や「秋映」等は**感受性が高い**ので、摘果剤を散布する際は注意しましょう。また、樹勢の弱い樹や生理落果の多い樹でも過剰摘果となる可能性があるため、注意しましょう。

詳しくは、摘果剤の使用法や使用上の注意事項を、使用前にしっかり確認してください。